

成功するための Linux 環境管理

効果的なシステム管理のための先進的なベストプラクティス、
ツール、テクニックに関するガイド



目次

1 ページ

この e ブックについて

2 ページ

Linux は将来への基盤

3 ページ

システムのライフサイクル管理

4 ページ

コンテンツとプロビジョニングの
管理

5 ページ

サブスクリプション管理と
ドリフト分析

6 ページ

構成管理

7 ページ

セキュリティ脆弱性と
コンプライアンスの管理

8 ページ

脆弱性、コンプライアンス、
およびパッチの管理

9 ページ

ベストプラクティス

10 ページ

ツールに関するアドバイス

11 ページ

専門的なツールによる
Linux 管理の一元化と統合

12 ページ

Linux 向け Red Hat 管理ツール

13 ページ

お客様成功事例：
Brinker International

14 ページ

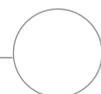
お客様成功事例：
医療サービスおよび金融サービス

15 ページ

お客様成功事例：
通信および製造業

16 ページ

今すぐ始める



この e ブックについて

この e ブックでは、先進的なベストプラクティスと自動化ツールを使用した環境管理の効率化について、Linux® 管理者とアーキテクト向けのエキスパートによるガイダンスを提供します。ここで説明する推奨事項を実践した組織は、IT の効率、セキュリティ、信頼性、およびコスト面でのメリットを享受するとともに、イノベーションと知見によってビジネスのサポートを改善しています。

この e ブックでの提案は、組織が次のことを実現するのに役立ちます。



最大
4.5 倍

IT の効率とスピードが向上します。¹



最大
20%

Linux 環境の運用コストを削減します。²



最大
25%

Linux 環境のサポートコストを削減します。¹



最大
98%

ストレージのプロビジョニング時間を短縮します。³

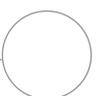


本書では、これらの各事項の詳細と、組織が柔軟な自動化、予測分析、統合ツールを使用して Linux システムをより効果的に管理する方法を紹介します。

1 Red Hat 事例、「Sunrise Communications、費用対効果の高い Red Hat ソフトウェアで標準化」、2018 年 4 月。redhat.com/ja/resources/sunrise-communications-customer-case-study

2 Red Hat 事例、「CTOS、Red Hat でアジリティを向上し、ビジネスの拡大を迅速化」、2017 年 11 月。redhat.com/ja/resources/ctos-case-study

3 Red Hat 事例、「NXP Semiconductors、Red Hat で製品設計プロセスを効率化」、2018 年 5 月。redhat.com/ja/resources/nxp-semiconductors-customer-case-study



Linux は将来への基盤

Linux® は、世界で最も多く利用されているオペレーティングシステムの1つであり、さまざまな業種や新興テクノロジーで広く採用されています。⁴ データセンターやクラウド・コンピューティング環境で、可用性と信頼性が高く、重要なワークロード向けによく使用されており、多様なユースケース、ターゲットシステム、およびデバイスをサポートしています。Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure、Google Cloud Platform (GCP)、Alibaba Cloud など、主要なパブリッククラウドプロバイダーはすべて、それぞれの市場で複数の Linux ディストリビューションを提供しています。Linux は、先進的なデジタル・ビジネス・イニシアチブを持続するために次のものを提供しています。

- オープンソース・イノベーション
- インフラストラクチャ全体の一貫性
- コンテナとアプリケーションの可搬性
- 大規模なワークロードとプラットフォームのスケラビリティ
- 継続的なセキュリティ機能
- アプリケーション開発のための柔軟なプラットフォーム

大規模な Linux 環境では、高度な管理ツールとアプローチが重要です。これらの環境には、大規模なチームが運用する何百ものシステムが含まれることがあります。セキュリティパッチ、バグ修正、および構成の変更が数千にも及ぶ可能性があり、手動で追跡や実装を行うとなればとても手に負えません。

これに加えて、ベアメタル、仮想化、プライベートクラウドおよびパブリッククラウドのリソースを含むハイブリッド環境全体にワークロードをデプロイする組織が増えています。この複雑さは、多くの場合、環境全体の可視性を妨げ、管理上の課題をさらに難しくする要因となります。

包括的な管理戦略を導入すると、アセットとビジネスを保護するとともに、Linux 環境を最大限に活用することができます。一貫性のあるオペレーティングシステムとツールに基づく**標準運用環境 (SOE)** は、最も効果的な管理戦略の中核になるものです。SOE は、IT インフラストラクチャを単純化して、効率性の向上、コストの削減、アップタイムの増加、デプロイメントとプロビジョニングにかかる時間の短縮、セキュリティの強化、IT の生産性の向上を実現します。

この e ブックでは、大規模な Linux 環境の管理に関連する課題、ツール、およびベストプラクティスについて説明しています。

数字で見る Linux

少なくとも

75%

Linux をプライマリ・クラウド・プラットフォームとして使用しているクラウド対応エンタープライズの割合⁴

54%

パブリッククラウド・インフラストラクチャで実行されるすべてのアプリケーションのうち、Linux 仮想マシンで実行されるものの割合⁵

80%

Linux を扱える人材を採用している人事マネージャーの割合⁶

4 The Linux Foundation, 「Linux is the most successful open source project in history」, linuxfoundation.org/projects/linux 2019年11月1日取得。

5 Management Insight Technologies, Red Hat 後援, 「エンタープライズ向けパブリッククラウドにおける Linux の地位」, 2018年2月, redhat.com/ja/resources/state-of-linux-in-public-cloud-for-enterprises

6 The Linux Foundation and Dice, 「The 2018 Open Source Jobs Report」, 2018年。

システムのライフサイクル管理

あらゆるシステム、リソース、ワークロードにはライフサイクルがあります。効果的な管理戦略の重要な側面であるシステムのライフサイクル管理とは、プロビジョニングから運用段階、最終的な廃棄まで、システムを管理することです。理想的なライフサイクル管理のアプローチにより、次のことが可能になります。



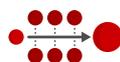
ビルド

自動化されたスケーラブルな方法でシステムを確実に作成します。



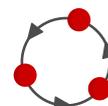
監視

すべてのシステム、アセット、サブスクリプションを追跡して把握します。



メンテナンス

ライフサイクル全体でシステムに一貫性を持たせます。



廃棄

不要になったシステムとリソースを廃止します。

一般的なライフサイクル管理の課題

一部の状況では、システムの効果的な管理が困難になる場合があります。

- ・ **環境の無秩序な広がり**: 大規模な環境には多数のシステムが含まれ、組織全体のシステムの状態とイベント追跡が複雑になります。
- ・ **技術的負債**: レガシーシステムを管理するためには、多くの場合、特別なツールとプロセスが必要であり、それがすべてのシステムを単一の管理ツールおよびプロセス下に置く取り組みを妨げています。
- ・ **限られたスタッフ**: 管理するインフラストラクチャの規模が増大しても、それに応じて IT チームが増員されることはありません。その結果、スタッフの数が同じでも作業は増加し、技術の変化、イノベーション、ビジネス要求に先んじることが難しくなっています。
- ・ **ビジネス継続性要件**: ビジネスが IT を活用するようになるほど、IT インフラストラクチャはさらに信頼性と可用性を向上する必要があります。したがって、システム管理は、重要なビジネスの運用を妨げない方法で行う必要があります。

ライフサイクル管理のベストプラクティス



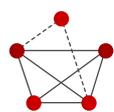
寿命を迎えたリソースを廃棄する

誰も使っていないにもかかわらず、放棄された未使用のリソースはスタッフの時間と予算を消費します。未使用のシステムを廃棄するプロセスを実装して、管理の労力とコストを節約しましょう。



デプロイを自動化する

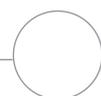
インフラストラクチャの規模が大きくなると、それを管理するための労力も増加します。自動化によって、日常的なタスクを効率化し、人的ミス減らして、スタッフをイノベーションに専念させましょう。



ツールを接続する

利用可能なアプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) を介してツールを統合しましょう。適切なインターフェースを使用して、他のツールでタスクを実行すれば、運用を効率化し、生産性を向上できます。

次のセクションでは、システムのライフサイクル管理の重要事項をいくつか説明します。



コンテンツとプロビジョニングの管理



コンテンツ管理

コンテンツ管理には、環境にデプロイするソフトウェア、パッケージ、およびパッチのサプライチェーンと管理が含まれます。

なぜ重要か

古いソフトウェアや署名されていないもの、精査されていないものを使用すると、ビジネスにリスクが生じる可能性があります。セキュリティの脆弱性、不安定性、パフォーマンスの問題につながりかねません。実際、サードパーティによるサービスやソフトウェアを悪用して最終的なターゲットを侵害するサプライチェーン攻撃は、2018年に78%増加しました。⁷

それでも、手動でのコンテンツ管理には時間がかかり、エラーが発生しやすくなります。

ベストプラクティスと推奨事項

効果的なコンテンツ管理により、本番環境で使用するあらゆるソフトウェアのサプライチェーンの安全性を確保することができます。次のことを行ってください。

- すべてのコンテンツの出所を把握します。
- コンテンツが転送中に改ざんされていないかどうかを確認し、改ざんされているものはすべて拒否します。
- 本番環境にデプロイする前にパッチをテストします。
- 地理的に分散した環境では、コンテンツをターゲットシステムのできるだけ近くに配置します。
- コンテンツを簡単かつ自動的に一元化、照合、キュレート、配布できるツールを使用します。



プロビジョニング管理

プロビジョニング管理は、システムのプロビジョニングとデプロイの方法を定義および制御するプロセスです。

なぜ重要か

ビジネスはITシステムに依存しています。適切なシステムがすぐに利用できない場合はビジネスに支障をきたす可能性があり、ユーザーは自分のニーズを満たすためにITが制御できないところで無許可のリソースをデプロイしてしまうかもしれません。

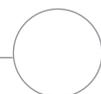
しかし、システムをプロビジョニングする方法は多数あり、多くのプラットフォームにはそのプラットフォームに固有の管理ツールが含まれているため、多くのITチームはプロビジョニング手順の標準化に苦労しています。

ベストプラクティスと推奨事項

効果的なプロビジョニング管理には、プラットフォームや地理的に分散した環境全体でシステムをプロビジョニングおよびスケールする機能が必要です。

- プラットフォームに依存しないツールを使用して、システム定義をシステムプロビジョニングから分離します。
- 包括的なクロス・プラットフォーム・ツールを導入すると、システムを一度定義すればさまざまなプラットフォーム（ベアメタル、仮想化、プライベートクラウドおよびパブリッククラウドなど）に一貫してデプロイできます。プラットフォーム固有の実装の詳細を追加定義する必要はありません。

7 Symantec、「Internet Security Threat Report, Volume 24」、2019年2月。



サブスクリプション管理とドリフト分析



サブスクリプション管理

サブスクリプション管理は、デプロイしたアセットの数とその特性を識別する手段です。多くの場合、アセットの記録システムに関連付けることができます。

なぜ重要か

サブスクリプションベースで販売されているソフトウェアを使用する場合、使用できる特定の製品のサブスクリプション数が契約で規定されます。システムを過剰にデプロイして契約条件に違反すると、罰金、契約終了、サポート停止につながる場合があります。同時に、実際に必要な数よりも多くのサブスクリプションを購入すると、組織に不要なコストが発生します。

ベストプラクティスと推奨事項

効果的なサブスクリプション管理により、ベンダー契約を遵守しながらコストを最適化できます。次のことを行ってください。

- 組織が使用しているサブスクリプションの数とその使用方法を可視化するツールを選択します。これにより、サブスクリプションを効率的に使用し、サブスクリプションの追加購入が必要な時期を判断できます。
- 既存および計画中のインベントリ管理製品に接続できるプラットフォームを選択します。
- プロセスとセーフガードを実装して、許可されたユーザーのみが新しいシステムにサブスクリプションをデプロイし、それらのサブスクリプションが正しく割り当てられるようにします。
- 古いシステムと未使用のシステムを特定して廃棄する手順を導入することで、不要なサブスクリプションに料金を支払うことがなくなります。



構成評価とドリフト分析

構成評価は、システムをスキャンして現在の構成を理解し、アクションが必要な構成を特定するプロセスです。ドリフト分析では、システムをベースライン構成、過去の構成、他のシステムと比較して類似点と相違点を見つけるために構成評価を使用します。

なぜ重要か

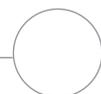
ベースイメージは適切に構成されているかもしれませんが、エンドユーザーによる調整とインストール、アドホックな修正、新しいイメージのデプロイによって、システムは時間の経過とともに変化します。システム構成の定期的な監視は不可欠です。しかしながら、手作業で構成を追跡するには時間がかかり、大規模な環境ではほぼ不可能です。スキャンツールを使用しても、大量のデータファイルをふるいにかけて、どのシステムに更新とパッチが必要かを理解するのは難しい場合があります。

ベストプラクティスと推奨事項

効果的な構成評価とドリフト分析により、システム構成を可視化して、運用およびパフォーマンス上の問題を特定し、非標準システムを検出し、ドリフトを制御できます。

構成の変更を定期的かつ継続的に追跡できる管理ツールを選択しましょう。監視は毎日行うことをお勧めします。理想的なツールによって次のことが可能になります。

- システム構成を収集して記録します。
- ベースラインから逸脱した構成の変更とシステムを検出します。
- 適用された更新を検証します。
- 以前の構成を再検討します。
- システム構成の違いを比較します。
- 監視を自動化することによって、運用を効率化し、定期的なスキャンをスケジュールし、一貫性を確保します。



構成管理



構成管理

構成管理には、望ましいシステムの状態の定義と、それに応じたシステムの構築および保守が含まれます。構成評価やドリフト分析と密接に関連しており、両方を使用して、更新、再構成、またはパッチ適用が必要なシステムを識別します。

なぜ重要か

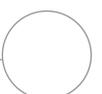
構成ミスがあったり、設定が古いままだったりすると、パフォーマンスの低下、矛盾、標準への非準拠が生じ、ビジネス運営やセキュリティに悪影響を及ぼしかねません。それでも、注意が必要なシステムを突き止めて修復手順を決定し、アクションの優先順位を付けて完了と検証を追跡するという手順は、多くの場合、大規模な環境で手作業で実施するには複雑すぎます。

ベストプラクティスと推奨事項

効果的な構成管理により、システム構成を一貫して定義し、それらのベースラインに従ってシステムを構築および保守できます。理想的な構成管理ツールを使用すると、次のことが可能になります。

- グループおよびサブグループ別にシステムを分類し、管理します。
- 基本構成を一元的に変更し、新しい設定を該当するすべてのシステムにロールアウトします。
- 旧式でパフォーマンスが低く、非準拠の構成を伴うシステムの識別、パッチ適用、更新を自動化します。
- 調査結果とアクションに容易かつ単純に優先順位を付けます。
- 状況に適した修復アクションにアクセスして適用します。

管理する基本構成の数を、本当に必要なものだけに制限しましょう。各構成はそれぞれ、管理にかかる時間と労力に直接影響します。同様のシステムの管理は、より少ない時間、労力、スタッフで管理できます。



セキュリティ脆弱性と コンプライアンスの管理

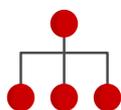
どの組織も IT のセキュリティを常に懸念しています。実際、CEO の 30% は、サイバー攻撃が組織の成長見通しに対する最大の脅威であると考えています。⁸ そして脅威は増大しています。データ漏洩の平均規模は 2018 年から 3.9% 増加し、2 年以内に漏洩が起こる可能性は 29.6% です。⁹ これに加えて、業界や政府の規制も変化しています。

セキュリティ脆弱性とコンプライアンスの管理では、システムの監視と評価によって、システムが確実にセキュリティおよび規制ポリシーに準拠するようにします。セキュリティ脆弱性とコンプライアンス管理に対する理想的なアプローチにより、次のことが可能になります。



評価

非標準である、脆弱である、またはパッチが適用されていないシステムを特定します。



整理

労力、影響、問題の重大度によって修正アクションに優先順位を付けます。



修正

アクションが必要なシステムに迅速かつ簡単にパッチを適用して再構成します。



レポート

変更が適用されたことを確認し、変更結果を報告します。

一般的なセキュリティおよびコンプライアンスの課題

いくつかの要因により、セキュリティ脆弱性とコンプライアンスの管理が困難になる場合があります。

- **セキュリティとコンプライアンスの状況の変化**：セキュリティへの脅威は急速に変化しているため、新たな脅威やそれに併せて変化する規制に、迅速に対応することが必要です。
- **分散型のマルチ・プラットフォーム環境**：インフラストラクチャはオンサイト・プラットフォーム、クラウド・プラットフォーム、およびさまざまな地域に分散するようになり、環境を完全に把握することができなくなっています。ホステッドプロバイダーは通常、自身のプラットフォームに固有の管理ツールを提供します。自分の環境のコンプライアンスと脆弱性のステータスを理解するには、これらの各ツールからのビューとレポートを組み合わせる必要があります。
- **大規模な環境とチーム**：大規模で複雑なインフラストラクチャおよびチームは、環境と組織全体の調整を複雑にする場合があります。実際、システムが複雑になると、データ侵害のコストが紛失または盗難されたデータ 1 件につき 10.96 ドル増加する可能性があります。⁹

次のセクションでは、セキュリティおよびコンプライアンス管理の重要事項をいくつか説明します。

⁸ PWC、「22nd Annual Global CEO Survey: CEO's curbed confidence spells caution」、2019 年。

⁹ IBM Security、「2019 Cost of a Data Breach Report」、2019 年。[ibm.com/security/data-breach](https://www.ibm.com/security/data-breach)

脆弱性、コンプライアンス、 およびパッチの管理



脆弱性の特定と修復

脆弱性の特定と修復は、インフラストラクチャを評価して、攻撃に対して脆弱なシステムを検出し、修正するプロセスです。これらの脆弱性は、新たな脅威、旧式のパッチ、システムの構成ミスなどによって引き起こされる可能性があります。多くの場合、修復アクションは、脆弱性を解消するためのシステムのパッチ適用、更新、再構成です。

なぜ重要か

セキュリティの脆弱性は、コストのかかる侵害を招く可能性があり、ビジネスの損失にもつながりかねません。データ漏洩による平均総コストは 392 万ドルです。¹⁰ ビジネス上の損失は平均的なデータ漏洩コストの 36.2% を占めています。¹⁰

Mitre は、毎年何千もの Common Vulnerabilities and Exposures (CVE) をリリースしています。¹¹ ほとんどの IT チームはそのペースについて行けず、すべての CVE を確認して自分たちのインフラストラクチャに影響はあるのか、どの部分に影響を与えるのかを判断するわけではありません。その結果、関連する CVE を見逃し、攻撃にさらされる可能性があります。



コンプライアンス管理

コンプライアンス管理は、システムが企業ポリシー、業界標準、および適用される規制に持続的に準拠させることが目的です。インフラストラクチャ評価により、規制、ポリシー、基準の変更、構成ミス、またはその他の理由によって非準拠となったシステムを特定します。

なぜ重要か

準拠していないことにより、セキュリティ侵害に加えて、罰金、ビジネスへの損害、認証の喪失につながる可能性があります。



パッチ管理

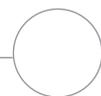
パッチ管理では、パッチや更新が必要なシステムを特定し、それらのシステムにパッチを適用、あるいはシステムを更新し、それらが正常にインストールされ機能していることを検証するためのテストを行います。

なぜ重要か

パッチが適用されていないシステムや古いシステムは、コンプライアンスの問題やセキュリティの脆弱性の原因となる可能性があります。

¹⁰ IBM Security、「2019 Cost of a Data Breach Report」、2019 年。[ibm.com/security/data-breach](https://www.ibm.com/security/data-breach)

¹¹ Mitre と CVE について詳しくは [mitre.org](https://www.mitre.org) をご覧ください。



ベストプラクティス

定期的にシステムスキャンを行う

毎日監視を行うことは、業務への影響や侵害が生じる前に、コンプライアンス上の問題やセキュリティの脆弱性を特定するのに役立ちます。2019年のデータ漏洩の特定と阻止にかかる平均時間は279日でした。200日以内に侵害の検出と阻止ができれば、侵害によるコストを平均で122万ドル削減できます。¹²

デプロイを自動化する

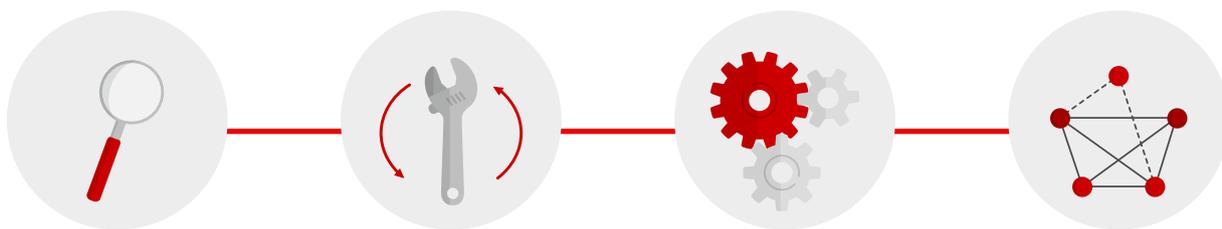
インフラストラクチャの規模が大きくなると、手動での管理は難しくなります。自動化を使用して一般的なタスクを効率化し、一貫性を向上させ、定期的な監視とレポートを確実に行いましょう。セキュリティの自動化を完全にデプロイすると、侵害の平均コストを95%削減できます。それにもかかわらず、実践している組織は16%に過ぎません。¹²

パッチ適用とパッチテストを頻繁に行う

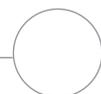
システムを最新の状態に保つことで、セキュリティ、信頼性、パフォーマンス、コンプライアンスを向上させることができます。パッチは、重要な問題に対応するために月に一度は適用すべきです。重大なバグや欠陥のパッチは、可能な限り速やかに適用する必要があります。パッチを適用したシステムは、受け入れテストを行ってから本番環境に戻します。

ツールを接続する

分散型の環境には、プラットフォームごとに異なる管理ツールが含まれていることがよくあります。APIを介してこれらのツールを統合します。適切なインターフェースを使用して、他のツールでタスクを実行します。使用するインターフェースを減らすことで運用が効率化され、環境内のすべてのシステムのセキュリティおよびコンプライアンスステータスの可視性が向上します。



¹² IBM Security、「2019 Cost of a Data Breach Report,」、2019年。[ibm.com/security/data-breach](https://www.ibm.com/security/data-breach)



ツールに関するアドバイス

理想的なセキュリティおよびコンプライアンスツールには、いくつかの主要な特徴と機能があります。



プロアクティブなスキャンニング

セキュリティとコンプライアンスのステータスを向上するには、まずそれを理解することが必要です。自動スキャンニングを行うツールがシステムを定期的に監視し、スタッフが多くの時間や労力を費やさなくても、問題があれば確実に警告します。

実用的な知見

環境に応じた情報を提供するツールは、存在するコンプライアンスの問題とセキュリティの脆弱性、影響を受けるシステム、予想される潜在的な影響をより迅速に特定するのに役立ちます。

カスタマイズ可能な成果

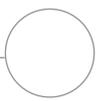
一部のコンプライアンスチェックは、特定の構成、用途、またはワークロードによって、特定のシステムに適用されない場合があります。誤検知を減らし、ビジネスリスクを管理し、セキュリティとコンプライアンスのステータスをより現実的に把握するためにビジネスコンテキストを定義できるツールが理想的です。

規範的で優先順位付けされた修復

規範的な修復を指示するツールによって、自分でアクションを調査する必要がなくなり、時間を節約してミスリスクを軽減できます。潜在的な影響と影響を受けるシステムに基づいてアクションに優先順位を付けることで、限られたパッチ適用の機会を最大限に活用できます。

直感的なレポート

パッチが適用されているシステム、パッチ適用が必要なシステム、セキュリティポリシーや規制ポリシーに準拠していないシステムに関する明確で理解しやすいレポートを生成するツールによって、監査性が向上し、環境のステータスをより深く理解できます。



専門的なツールによる Linux 管理の一元化と統合

Red Hat は、IT 管理への包括的なアプローチを採用しており、ベアメタルサーバーや仮想化サーバーからプライベート、パブリック、およびハイブリッドクラウド・インフラストラクチャに至るまで、IT 環境全体のスピード、スケーラビリティ、安定性を向上させます。Red Hat® 管理ツールは、Linux の長年の開発とサポートの経験に基づいています。これらはシームレスに連携して IT 管理を効率化し、チームの時間と労力を節約して、環境をより安全で、最適化された、信頼性の高いものにします。



構成可能なツールとベースラインにより、誤検知が減少し、インフラストラクチャのステータスを正確に把握できます。



自動化機能により、構成とパッチ適用の精度が向上し、人的ミスが減少します。



カスタマイズ可能なビューは、適切な情報を適切なタイミングで迅速に提供します。



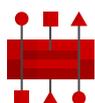
自動化されたプロアクティブな修復によって問題をより迅速に修正することができ、サポートに連絡する必要がありません。



広範なリソースのライブラリは、詳細で的確な情報を 24 時間 365 日提供します。

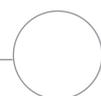


オンサイトおよび SaaS (Software-as-a-Service) オプションを使用すると、好みに応じてツールをデプロイできます。



API は、好みのツールやインターフェースに接続します。

Red Hat を使用した IT 管理の詳細は、redhat.com/ja/topics/management をご覧ください。



Linux 向け Red Hat 管理ツール



Red Hat インフラストラクチャ向けシステム管理

Red Hat Satellite は、Red Hat インフラストラクチャのデプロイ、管理、スケーリングを単純化して、効率を高め、運用コストを削減し、IT が戦略的なビジネスニーズに注力できるようにします。

- 物理環境、仮想環境、クラウド環境で機能します
- コンテンツ、パッチ、構成、プロビジョニング、およびサブスクリプション管理を提供します
- オンサイト、クラウド、および切断された環境をサポートします
- 完全なシステムライフサイクル制御を実現します
- ほとんどのシステム・メンテナンス・タスクの自動化を可能にします

Red Hat Enterprise Linux 向けクラウド管理サービス

SaaS (Software-as-a-Service) インフラストラクチャ管理

Red Hat Enterprise Linux 向けクラウド管理サービスは、セキュリティの脆弱性、コンプライアンス、構成ドリフト分析を効率化して、Red Hat 環境を最適化します。

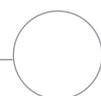
- 脆弱性とコンプライアンスを評価し、監視します
- 問題の修正を自動化します
- SaaS ベースのサービスを介してツールのメンテナンス要件を軽減します
- 環境内のすべてのホストを単一のビューで表示します
- Red Hat Insights と同じ中央リポジトリをデータとインベントリに使用します



IT リスクの予測分析

Red Hat Insights は、IT チームがセキュリティ、パフォーマンス、可用性、安定性に対する脅威をプロアクティブに特定して修正し、問題、停止、計画外のダウンタイムを回避し、Red Hat 環境が最適に動作していることを確認するのに役立ちます。

- すばやく簡単に開始できます
- すべてのアクティブな Red Hat Enterprise Linux サブスクリプションに含まれています
- 長年のサポート専門知識を取り入れています
- 実用的な知識と自動化を提供します
- 最小限のシステムメタデータにアクセスします
- **Red Hat Ansible® Automation Platform** Playbook を動的に生成して、修復の自動化を支援します



Brinker International

Red Hat ソリューションでホスピタリティのデジタルエクスペリエンスを提供

課題

Chili's Grill & Bar と Maggiano's Little Italy の親会社である Brinker International, Inc. は、革新的なデジタルエクスペリエンスによってゲストに特別な食事体験をしてもらうことを重視しています。Brinker のデジタルゲストサービスは、ゲストの期待に応えるために考案されましたが、当時のレガシー・テクノロジーでは対応できませんでした。ウェブサイトのコード更新のプロセスには数時間を要し、ダウンタイムが生じ、一貫した構成が保証されていませんでした。Brinker は、より一貫性のあるゲストエクスペリエンスを提供し、デジタルサービスの導入を増やすために、新しい e コマース環境でデジタル・プラットフォームを統合する必要がありました。

ソリューション

必要なイノベーションと柔軟性を組み込むために、Brinker はオープンソース・テクノロジーの使用を決定しました。新しい e コマース環境の基盤として Red Hat のプラットフォームを選択しました。この環境では、Chili の新しいデジタル・カーブサイド・サービスもホストされています。Brinker は、ストレージ、管理、データ分析向けに Red Hat ソリューションを採用しました。統合された新しい e コマース環境は、より迅速な開発とデプロイをサポートし、ピーク時のトラフィック需要に合わせてスケーリングを行い、ゲストのデータを確実に保護します。



「Red Hat Insights は、リスクを軽減しシステム状態を可視化します。あらゆる脅威に対して自動的に対策を行うことで、当社の IT 環境とデータのセキュリティの維持に役立っています」

Brinker International
IT エンタープライズソリューション担当
シニアディレクター
Pankaj Patra 氏



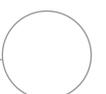
機密性の高い顧客データの保護を向上



革新的でスケーラブルな e コマース環境を構築



機能とサービスの開発と起動を迅速化



医療サービスおよび金融サービス



HCA Healthcare はデータリソースを使用して、命に関わることもある敗血症の検出など、長年にわたる業界の課題に対する革新的なソリューションを見出しました。医療会社である同社は、最適化されたコンテナと自動化テクノロジーに基づいて、リアルタイムの予測分析製品である SPOT (Sepsis Prediction and Optimization of Therapy) をデプロイしました。SPOT により、HCA は敗血症をより正確かつ迅速に検出できるようになり、人々の命を救うための助けとなっています。



Knowledge Creates Confidence

CTOS Data Systems Sdn. Bhd. はマレーシア最大の民間信用調査機関 (CRA) であり、国内市場へのリーチと製品ポートフォリオを拡大したいと考えていました。CTOS は、Linux プラットフォームのコミュニティバージョンから、Red Hat テクノロジーをベースとする仮想化環境に移行しました。新しい環境によって運用コストを削減し、管理とセキュリティを効率化し、ビジネス需要と顧客のトラフィックの変化に対応するためのスケーラビリティを実現しました。



敗血症の検出を最大 20 時間迅速化



エキスパートによるサポートで、
ダウンタイムを短縮し、管理を単純化



機械学習アルゴリズムを使用して
新しい知見を取得



エンタープライズ・グレードの
セキュリティを実装してデータを保護



イノベーションのリスクとコストを削減

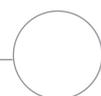


Linux 環境の運用コストを約 20%
削減



「Red Hat ソリューションによって、仕事やセキュリティ意識に自信を持てるようになりました。インフラストラクチャの心配をする必要がなくなり、全員が夜によく眠れるようになりました」

CTOS Data Systems Sdn. Bhd. IT マネージャー
Benjamin Lau 氏



通信および製造業

Sunrise

スイス最大の民間通信プロバイダーである **Sunrise Communications** は、費用対効果の高い運用が可能な、安全で、柔軟で、安定した IT サービスを必要としていました。同社は、すべての IT インフラストラクチャを SAP® HANA® および Red Hat のエンタープライズ・ソフトウェアに統合し、その結果、コスト削減、スピードとパフォーマンスの向上を実現し、オープンソース・コミュニティ開発を活用して革新的で費用対効果の高いサービスをリリースしました。



電子部品の世界最大の生産者の1つである **NXP Semiconductors N.V.** は、10,000 人の設計エンジニアが完了したシミュレーションとテストをサポートするために、計算能力を向上することが必要でした。効率的な Red Hat ベースの IT 環境により、同社はプロビジョニング時間を短縮し、標準化によって品質を向上させ、管理を単純化して高品質の部品の市場投入を迅速化しました。



IT 効率が 4.5 倍向上



単純化および自動化された管理により効率を向上



SAP 環境のサポートコストを 25% 削減



IT 構成の標準化により、グローバルな作業を効率化



オープンソースの専門知識とサポートにアクセス可能

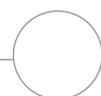


ストレージのプロビジョニング時間を 8 時間から 5 分に短縮



Red Hat Ansible と Red Hat Satellite で一元管理されるので、Red Hat Enterprise Linux はより効率的です。

NXP Semiconductors IT インフラストラクチャサービス担当シニアディレクター
Sebastian Laurijsse 氏



今すぐ始める

Linux は、先進的なデータセンターの主要なプラットフォームです。包括的な管理戦略によって、アセットとビジネスを保護するとともに、Linux 環境を最大限に活用することができます。

Red Hat は、大規模な Linux 環境のパフォーマンス、信頼性、セキュリティを向上させる相互運用可能な管理ツールを提供します。



Red Hat 管理ツールの詳細はこちら
redhat.com/management